

発言No.

15

受付No.

A

令和 2 年 11 月 19 日  
A 時 54 分 受付

## 一般質問発言通告書

議席番号 24 番

氏名 牛尾 昭

答弁を求める者

市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長

(○をつける)

農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

### 発言項目及び要旨

#### 1 浜田商工会議所の要望について

##### (1) 水道料金の減免について

- ① 水産関係事業者の対応策はどのようになっているのか現状を伺う。

##### (2) 石央物流団地について

- ① 新規造成事業についての考えを伺う。  
② 新たな進入路確保についての考えを伺う。

##### (3) 浜田らしい観光サインの統一について

- ① 案内標識や案内板の統一についての考えを伺う。  
② 設置場所の点検整備についての考えを伺う。  
③ パンフレットへのピクトグラム記入についての考えを伺う。

##### (4) 神楽産業全体の支援について

- ① 面工房への支援はどのようになっているのか現状を伺う。  
② 小道具制作業者の支援についての考えを伺う。

##### (5) 観光事業者応援給付金の追加支援について

- ① 追加支援についての考えを伺う。

##### (6) はまだ飲食・宿泊チケットの追加発行について

- ① 売り切れで市民に行き渡ってないが追加発行についての考えを伺う。  
② 小売業もいれるべきではないか。  
③ 毎年恒例で閑散期対策としてやるべきではないか。

#### 2 公立幼稚園について

##### (1) 統合について

- ① 長浜ではなく、新園を建設すべきではないか。  
② 保護者の要望にどう応えるのか。



発言No. 16

受付No. 23

平成 2 年 11 月 19 日  
10 時 57 分 受付

### 発 言 通 告 書

議席番号 23番 氏名 西村 健

発 言 の 種 別 (項目を○で囲む)	質疑 <u>個人一般質問</u> 緊急質問
答 弁 を 求 め る 者 (該当者を○で囲む)	<u>市長</u> 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長 農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

#### 発言項目及び要旨

1	病児病後児保育事業における補助金返還問題と事業再開の可能性について
(1)	補助金返還問題を巡るこの間の経過 及び市・県・国の対応状況について
①	病児病後児保育事業の実施要綱中、職員配置基準の改正の内容・履歴について問う。
②	「常駐」についての国の認識について問う。
③	「常駐」についての市の認識について問う。
④	議会全員協議会において、市の要綱が長期間にわたり改正されていなかったにもかかわらず、「受託者は国の要綱に合わせ、逐次適切な職員配置を行っていた」との報告は、それだけでは常識的には信用しがたい。何にもとづき国の要綱どおり職員配置が行われていることを確認したのか。
⑤	市は今回、あんず保育室における病児病後児保育事業について適切に事業を行ってきており、自ら補助金を返還する考えはないことを明らかにされたが、今後、国による調査や、それに基づく補助金返還請求の可能性についての市の認識について問う。
(2)	病児保育事業再開の可能性について
①	今後の病児保育事業の再開に向け、どのような方向性をめざすのか。



発言No.

17

受付No.

7

令和 2年 11月 18日

14時 45分 受付

## 一般質問発言通告書

議席番号 12番

氏名 笹田 卓

答弁を求める者

市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長

(○をつける)

農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

### 1 少子化対策について

#### (1) 15歳以下の人口について

- ① 2009年度、2014年度、2019年度の出生数、小学生数、中学生数について伺う。
- ② 今年度の出生数の見込みについて伺う。
- ③ この人口激減が進めば、保育園、幼稚園、小学校、中学校はどのような状況になっていくのか伺う。
- ④ この推移、状況について、市長はどのような危機感を持っているのか伺う。

#### (2) 浜田市が行ってきた少子化対策について

- ① 浜田市独自で行ってきた少子化対策について伺う。
- ② その効果について伺う。
- ③ 今後、浜田市独自で新たに行う少子化対策について伺う。

### 2 瀬戸ヶ島埋立地の管理状況について

- ① 瀬戸ヶ島埋立地については、雑草が生い茂り、ゴミが散乱し、管理が行き届いていない。現在の管理状況について伺う。
- ② 今後の改善策について伺う。



発言No.

18

受付No. 13

令和2年 11月 19日  
10時 0分 受付

## 一般質問発言通告書

議席番号 20 番 氏名 西田清久

答弁を求める者  市長  教育長  監査委員  選挙管理委員会委員長  
(○をつける)  農業委員会会長  固定資産評価審査委員会委員長  公平委員会委員長

### 発言項目及び要旨

#### 1. SDGsから見る浜田市のゴールについて

SDGs（持続可能な開発目標）の中の目標4について浜田市に置き換えて質問する。

##### (1) “浜田市の子どもたちすべてに公平で質の高い教育の提供”について

- ① 教育委員会では、浜田市の子どもたちの教育環境の質を、他の地域と比べてどのように認識しているのか伺う。
- ② 先般、総務文教委員会で、配慮が必要な子どもたちの割合が増えていると聞き、大変気になっているが、誰一人取り残さないための配慮、対策について教育委員会の所見を伺う。
- ③ 浜田市は合併後、市域が広くなり自然環境・各地域の歴史文化・食や生業など市の持っている資源は計り知れないものがあると思うが、そのポテンシャルは活かされていないと思う。子どもたちの故郷への思いや可能性を育むためには体験活動が極めて重要と考えるが、浜田市の体験活動予算とその考え方について伺う。

##### (2) “すべての浜田市民への生涯学習の機会の促進”について

- ① 来年度、公民館が「まちづくりセンター」として新たに生まれ変わることを機に、市民への周知と意識の方向性を定めた“人材育成都市宣言”あるいは“生涯学習都市宣言”を実行してはどうか伺う。
- ② 地域住民の主体的なまちづくり活動の中で、地域資源を活用した営利目的の活動も可能だと思うが、市として市民のその積極性をどのように評価されるのか所見を伺う。





発言No. 19

受付No. 9

令和2年11月19日

9時24分 受付

## 一般質問発言通告書

議席番号 13番

氏名 布施 賢司

答弁を求める者

市長  教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長

(○をつける)

農業委員会会長  固定資産評価審査委員会委員長  公平委員会委員長

### 発言項目及び要旨

#### 1 公立幼稚園施策について

##### (1) 浜田市立幼稚園の統合方針について

浜田市内の市立幼稚園4園について、2023年度（令和5年度）に1園に統合する方針を、10月26日の総務文教委員会で公立幼稚園の今後のあり方（案）について、教育委員会から説明されました。その翌日の新聞報道は、「統合する方針を決めた」と報道があったことから、「もう決定!」「決定するまでに、少しは意見や要望を聞いて実施して欲しかった」と、怒りと落胆に近い声を多くの保護者や関係者から聞いております。

これまで公立幼稚園の将来展望として閉園、統合に関して同僚議員が平成23年に一般質問をしており、当時の教育長は公立の幼稚園は存続するが、1園は閉園するとの方針から、閉園する幼稚園を原井幼稚園に決定、また、平成25年度末で原井幼稚園を閉園して、石見幼稚園に統合するという方針に決定した。平成24年に同園の保護者達が、存続を求める署名簿を3月と11月に市に提出し方針撤回を求めたことにより、当時の市長見解で統合は当面見送りとなり、統合新園建設（平成30年頃をめど）も含め検討するというものでありました。そういった経緯もあり、統合する話が出たときには、休園になっている原井幼稚園と石見幼稚園の統合だと思っていました。延び延びになっている2園の統合と新園建設の方針を打ち出しておいて、幼児（3～5歳児）の就園状況や行革の実施計画で幼稚園を統合する計画があるにしても、4園（原井幼稚園は休園中）を1園にする方針案は、少なくとも私は現時点で容認できませんので以下質問させていただきます。

① 幼稚園問題において、無償化や該当保護者の希望の減少等、公立幼稚園の存在意義があらためて問われています。他市では園児数がごく少数でも特色ある取組をされて存続している幼稚園もあるように、統合問題を行革、少子化の視点から議論することはどうか、幼稚園の統合が地域に、将来を担う子どもたちの人格形成にどう影響するのかなどを考えた上で公立幼稚園問題を判断すべきだと思うが、ご所見をお伺いします。

② ただ単に少子化や働く人が増えて公立の幼稚園に預ける幼児数が減っているのではなく、今まで長年、園児数を確保するために、園や保護者からの意見や要望がありながら、それに応えてこなかったそのものの姿勢がその大きな要因の1つになっていると私は思いますが、それについてどう思われるのか伺います。

③ 預かり保育や給食等の要望を出すと、ことあるごとに民業を圧迫してはいけないと言われるのですが、保育園の伸びは4、5年前から減る傾向にあるが、公立幼稚園や、私立幼稚園の影響で定員割れを招いているとは思えない。直近の保育所の定員と入園者数（浜田自治区）私立幼稚園の入園者数をお伺いする。

④ 後手となった保護者説明会(11月3日浜田公民館)。出席した人の数や保護者在園名、男女の比率、地元・転勤族かどうか等、また、保護者からはどのような意見が出て、どう答えたのか伺います。

⑤ 浜田市の公立幼稚園のめざす方向性についての中で、教育課程の実践を継続するためには、一定規模の園児数が必要であるとしているが、一定規模の園児数とは何人なのか、また、要望されていることを今打ち出し取組まないと、現在の50人どころか、2年の間に今以上に減る可能性があり、1園存続することさえも危なくなる可能性があるが、ご所見をお伺いします。

⑥ 園舎について、各園それぞれ修繕箇所が多くあり、石見幼稚園は今年度、遊戯室の天井の一部が剥がれ落ちたりしている。また、雨漏りができており、見積もりは800万だったが、トイも一緒にすると1,000万になる。そこまで修繕費用をかけることはできないと言われた。手つかずの状態ではないか。こんなことでいいのか、あと2年で統合するから直さないのか、それとも財政がストップをかけているのか、お伺いする。

⑦ 先生方の話として、統合の方針案が出て、それでも入園しようとする人が数名おられ、大切にしたいと思っている。この幼稚園2年でもこの環境の中で、伸び伸びと遊ばせてやりたい。長浜幼稚園に通うことになるにしても、園児たちには「もっと楽しい思い出ができるよ」と言って送り出してやりたいとも言われた。園として本当に頑張っているともいわれた。それにはまず、入園してもらわなければならない。行政として園の努力は求めても、幼稚園の先生方や今の体制でお願いばかりされているが、入ってもらう時に行政が「どれだけ手を差し伸べてくれるか」、「統合するまでにこれだけのことをします」と、ちゃんと言わないとダメだと思うが、ご所見をお伺いする。

## 2 コロナ禍で行事の再確認できる大切さについて

① コロナ禍で子ども達もさまざまな課題に直面してきている。課題に直面したときの行動の仕方を学び、習慣として身に付けるために支援する事も、学校の役目の一つであると思う。

修学旅行・学校祭などの学校行事や部活動の試合などは、生徒や保護者の気持ちなどを考えると本当に苦渋の決断をしなければならないことが何度もあったと思います。先生たちは授業改善に話し合いや業務改善などを通して効率的に職務を果たし、勤務時間短縮に向けて取組んでおられ、また、諸行事などの内容の見直しや、オンライン授業などの検討を行う良い機会になったと思います。秋は運動会シーズンでした。各園、学校がコロナ禍の中で工夫して、運動会の検討、実施された事でしょう。会場が3密にならないように「学年ごとに保護者、子どもを入れ替える」などの配慮しての開催。1つの学年の参加時間が短くても、種目を精選しての実施。この状況を「物足りない」「さみしい」「今年の子どもはかわいそう」と思ったと親御さんの言葉をききました。私もそう思うことがありましたが、園や学校にお邪魔してこれまでの様子をお伺いすると、「出来ないのではなくて、どうすればいいのか」知恵を出し合い工夫され取組んでおられました。私の前段でのその気持ちは払しょくされ、そう思っただけは子ども達にとってプラスにならないと悟りました。今年は新型コロナウイルスのため、さまざまな行事を見直さざるを得なくなっています。しかし、これを機会に「今までの行事の在り方は正しかったのか？」と振り返ることが大事であり、そうした意味では、「行事や保育の本当の意味を再確認するチャンス」であると思いますが、ご所見をお伺いします。



令和 2年 11月 19日  
9 時 31分 受付

## 一 般 質 問 発 言 通 告 書

議席番号 16 番 氏名 永見 利久

答弁を求める者 市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長  
(○をつける) 農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員  
会委員長

### 発言項目及び要旨

#### 1 安心して暮らせる地域づくりについて

##### (1) クマ出没に対する取組について

全国各地でクマの人的被害が相次いでいます。浜田市井野でもクマに襲われケガをされた事例が発生しました。全市で、頻繁にクマが出没し、市街地や小中学校付近でも目撃が相次ぎ、中山間地域だけの問題ではなくなっています。私、9月議会の一般質問で、クマ、出没の対策について質問させて頂きましたが、度重なる報道や、井野での事故を受け再度確認も含め質問をさせて頂きま

- ① 浜田市内で、クマが人を襲った事例がまた発生しました。クマの目撃通報後の住民への注意喚起について、市民への周知がこれまで徹底されていない、この対応について再度確認いたします。
- ② 市街地、中山間地、各所でのクマの目撃情報が寄せられているが、市として、土日や時間外の連絡体制と住民周知について伺う。
- ③ 9月の全員協議会で、ヤギがクマに襲われた事例について話をさせて頂きました。今後、人的被害が決して発生してはならないと、大変心配しております。  
近距離の移動でも車を利用したり、また、朝、夕、家周辺での作業や新聞を取りに出るにも不安との声が多い、クマが人里に降りない対策、また、人里に降りてきた時の対策、これをどのように行われているか、対応を伺います。

(2) 有害鳥獣対策について

- ① 9月に、ドローンの使用について、市内企業との災害協定締結をして頂き、災害時の情報収集に役立つと期待していますが、クマやイノシシ等の有害鳥獣が集落付近へ出没しないよう、全国ではドローンを活用しての取組が始まっているが、その考えはないのか伺います。
- ② 中山間対策の、集落鳥獣対策補助として、美又地区の町内会では、集落獣被害対策専門部会を立ち上げて、県のモデル地区の指定を受け、残っている農地を何とか守るため、林地と集落との境に緩衝地帯を設けるなど計画されている。  
美郷町で取り組んでおられる、電気柵のメーカーの協力得た、先行事例等なども研究して取組んで頂きたい。クマやイノシシ等の有害鳥獣の出没が続くと、果樹の被害や水田の水路・畦畔やあぜ道の被害が増加し、修復するにも多額の費用がかかり、耕作放棄地の増加に繋がり鳥獣被害も益々増えるという悪循環が生まれる。この様な取組に対して、県の集落周辺里山整備事業はあるが、浜田市としての支援についての考えを伺う。

## 2 住宅環境整備による定住対策について

金城自治区の今福地区では、空き家バンク制度を利用されて、7世帯の方が地域周辺部から移住されました。

移住された方は、保育園や学校に近い所の住宅を選ばれています。今後、地域周辺部から空き家を利用して、生活するのに便利な場所に移住する傾向が見られます。生まれ育った地域で生活拠点を確保し、周辺部の高齢独居生活の方でも冬には、介護施設の利用も楽になります。この様な状況を踏まえて、市としての対応策について以下質問を致します。

- ① 空き家対策も、住民から見ると、利便性の良い所を望まれている。今後、中山間地域においても、特に、小学校や保育園などの施設に近い地域での、空き家対策に力を入れて頂きたいが、その考えはないか伺います。
- ② 市の空き家改修経費の補助を利用して改修工事を行っても、自己負担が高額となり入居の支障になっている方もおられます。公営住宅があれば、そこに住んで教育や親の介護も出来ると希望される方も多い中で、空いている、教員住宅や若者定住住宅をもっと活用出来るように、必要な改修やPRについて市としての考えを伺います。